

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成23年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	1	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館で使用する電気 契約電力1,650kw 年間予定使用電力量 7,948,000kwh	
契約締結日	平成24年1月30日	
契約の相手方の商号又は名称等	九州電力株式会社 福岡南営業所	
入札経緯及び結果	平成23年12月9日 入札公告 平成24年1月23日 関係書類提出締切 平成24年1月30日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	今後、裾切り方式での競争入札を検討しており、これに合わせ、仕様についても可能な限り見直す予定である。
②業務等準備期間の十分な確保	○	前年の準備期間より約1ヶ月延長し、1ヶ月から2ヶ月とした。
③公告期間の見直し	○	公告期間の確保(51日間)に努めた。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	今後検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、一等級下の等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
-		
契約監視委員会のコメント		
上記のとおり、法人における改善取組はほぼ実施されていると思われる。引き続きこれらの努力を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き、一者応札改善の取組を継続したい。		

- (注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。
- (注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。
- (注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成23年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	2	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	装飾古墳データベース保守 一式	
契約締結日	平成24年3月14日	
契約の相手方の商号又は名称等	財団法人日本地図センター	
入札経緯及び結果	平成24年2月22日 入札公告	
	平成24年3月7日 関係書類提出締切	
	平成24年3月14日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	従前の仕様は必要最低限と思われる内容に留まっており、これ以上の見直しは困難であったため従前どおりとした。
②業務等準備期間の十分な確保	○	2週間以上の準備期間の確保に努めた。
③公告期間の見直し	○	公告期間(20日間)の確保に努めた。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	今後検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
—		
契約監視委員会のコメント		
上記のとおり、法人における改善取組はほぼ実施されていると思われる。引き続きこれらの努力を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き、一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成23年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	3	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館博物館科学課研究機器設備定期点検・保守一式	
契約締結日	平成24年3月14日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニコンインステック九州支店	
入札経緯及び結果	平成24年2月22日 入札公告	
	平成24年3月7日 関係書類提出締切	
	平成24年3月14日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	従前の仕様は必要最低限と思われる内容に留まっており、これ以上の見直しは困難であったため従前どおりとした。
②業務等準備期間の十分な確保	○	2週間以上の準備期間の確保に努めた。
③公告期間の見直し	○	公告期間(20日間)の確保に努めた。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	今後検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	仕様書の交付は受けたが、入札には参加しなかった業者に理由等をヒアリングした。(「対象となる機器の一部について代理店契約がない」とのことであった。)
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
—		
契約監視委員会のコメント		
上記のとおり、法人における改善取組はほぼ実施されていると思われる。引き続きこれらの努力を続けられたい。		
<p>(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)</p> <p>、引き続き、一者応札改善の取組を進めたい。</p>		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成23年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	4	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館走査線4000本級超高精細映像システム運用操作及び設備点検・保守業務 一式	
契約締結日	平成24年3月16日	
契約の相手方の商号又は名称等	財団法人エヌエイチケイエンジニアリングサービス	
入札経緯及び結果	平成24年2月24日 入札公告	
	平成24年3月9日 関係書類提出締切	
	平成24年3月16日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	従前の仕様は必要最低限と思われる内容に留まっており、これ以上の見直しは困難であったため従前どおりとした。
②業務等準備期間の十分な確保	○	2週間以上の準備期間の確保に努めた。
③公告期間の見直し	○	公告期間(20日間)の確保に努めた。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	今後検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、二等級下の等級まで加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
—		
契約監視委員会のコメント		
上記のとおり、法人における改善取組はほぼ実施されていると思われる。引き続きこれらの努力を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
引き続き、一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成23年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	5	
入札及び契約方式	企画競争	
契約の件名及び数量	九州国立博物館ホームページおよびWebコンテンツ編集・制作・維持管理等業務 一式	
契約締結日	平成24年3月13日	
契約の相手方の商号又は名称等	デジタル工房森組	
入札経緯及び結果	平成24年2月21日 企画競争公示	
	平成24年3月8日 関係書類提出締切	
	平成24年3月13日 企画競争実施(業者選定)	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	従前の仕様は必要最低限と思われる内容に留まっており、これ以上の見直しは困難であったため従前どおりとした。
②業務等準備期間の十分な確保	○	2週間以上の準備期間の確保に努めた。
③公告期間の見直し	○	公告期間(20日間)の確保に努めた。
④公告周知方法の改善	○	従前より書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	今後検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	仕様書の交付は受けたが、入札には参加しなかった業者に理由等をヒアリングした。
⑦競争参加資格の拡大	×	今後見直しを予定している。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
「⑦競争参加資格の拡大」について、現状、企画競争への参加条件として、コンテンツの編集等について新聞全国紙規模の編集経験を求めているが、今後、見直しをおこなう予定である。		
契約監視委員会のコメント		
上記の通り、公告期間等、改善の取組は実施されている。引き続きこれらの取組を続けるとともに、競争参加資格について一者応札の改善に向けた見直しを進めていただきたい。また、「業者等からの聴き取り」によって得られた改善事項があれば、翌年度以降改善していく必要があると考えられる。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
競争参加資格の拡大については、参加要件の見直しを進める。また、業者等からの聴き取り結果を踏まえ、引き続き、一者応札改善の取組を進めたい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。